

令和3年5月26日

四日市市長 森 智広 様

四日市市議会

議長 樋口 博己

新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望について

新型コロナウイルス感染症は、現在、変異株の急速な拡大が全国的に進んでいます。本市においても、まだまだ収束の気配が見えない中、さらなる感染拡大がもたらす市民生活や経済活動への影響が大変深刻化しています。

このような中で、本市では、5月6日より75歳以上の高齢者から新型コロナウイルスワクチンの集団接種の予約を開始したものの、電話やインターネットによる予約受付が集中し、思うように予約できない状況が続いています。

市内の医療従事者や保健所職員など最前線で従事する関係者のこれまでの対応には敬意を表しますが、市民の不安を解消し、今後の75歳未満の市民への円滑なワクチン接種につなげていくためには、現在の課題を改めて整理した上でさらなる対策が早急に求められます。

つきましては、本市における新型コロナウイルスワクチン接種に関し、次の項目について速やかに対策を講じるように強く要望しますので、よろしくお取り計らい願います。

記

1. 市民への情報提供

テレビ、新聞などあらゆる媒体を活用して市民に分かりやすい情報を積極的に広報するとともに、市長自らが率先して市民が安心できる内容を伝えるなど市民への情報提供の充実に努めること。また、提供する情報は、コールセンターの運用状況も含め、今後ワクチン接種を進める上で市民が混乱しない内容とするとともに、接種回数や接種率、接種会場ごとの接種状況など市民が判断材料にできる情報についても公表すること。

2. 今後の接種事業の進め方

接種予約ができない75歳以上の高齢者がまだまだ多い現状において、5月27日からの65歳から74歳の高齢者への予約開始は、混乱を招く恐れがある。75歳以上の高齢者の予約状況によっては、65歳から74歳の接種予約を一時見合わせることも視野に入れて、慎重に状況を見極めながら、接種事業を進めること。併せて、75歳以上の高齢者の接種状況を向上させることをまずは優先的に行い、その後、接種対象者を広げていく中で、他自治体の事例を研究して工夫した取り組みを行い、円滑な接種につなげること。

3. 接種予約の受付

高齢者が安心して予約したり、予約再開などの情報を取得できるように、高齢者により一層寄り添った丁寧な対応を行うこと。また、周囲に家族などの協力者がいない高齢者がワクチン接種を諦めることなく円滑に進められるよう、地域での支援や補助ができる仕組みを検討するなど対応に努めること。

4. 医療機関による個別接種

個別接種を行う医療機関について、市民に分かりやすく周知すること。また、個別接種の案内が今後進むことで、集団接種の予約をキャンセルする事態を想定した対応を検討すること。

5. ワクチンの適正管理等

当日キャンセル分等の余剰ワクチンをどのように活用するのかを想定して事前に方針を定め、市民に公表すること。また、今後個別接種を行う各医療機関にワクチンを配送する際には、ワクチンを適切に管理し、品質が確保できる体制を整えること。

6. 集団接種会場等

現在の集団接種会場は、分布が沿岸部に集中しているため、市民の利便性を十分に考慮して、市内にバランスよく配置するよう、今後の会場選定にあたっては継続して検討を行うこと。また、接種会場に公共交通機関やタクシーを利用する高齢者への移動支援や障害者への合理的配慮の提供など具体的な支援内容を検討すること。

7. 接種事業推進に向けた連携

医師会と緊密に連携して、各医療機関からの協力を得るとともに、医師会を行政がしっかりと支援する体制を整備すること。また、地域において自治会、民生委員・児童委員、地区市民センター等と連携し、特に高齢者等への接種の推進においては、必要に応じて協力を求めること。